



秋田県立 比内支援学校 教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

【学校の現状】

- 在籍数は、小学部23名、中学部29名、高等部62名、総計114名と、ここ数年増加傾向にある。寄宿舎生も45名と増加している。児童生徒は重複・多様化の傾向にある。また児童生徒の約10%が肢体不自由を併せ有している。
- 地域行事に積極的に参加・参画し、本物の力を付けてきた。恵まれた自然環境や地域との関係を活かした教育課程を継続していきたい。併せて、新学習指導要領に基づいた授業の質の向上に取り組んでいる。
- 地域の学校との交流及び共同学習、高校支援隊の各種支援、センター的機能の充実により、本校の理解推進が大きく広がってきている。平成28年度に改称した学校後援会は、様々な活動で教育振興と充実を図っている。
- 昨年12月に新校舎が完成し、今年1月から使用している。今年度は体育館が改築の予定である。

【課題】

- 児童生徒の自立と社会参加を目指し、障害特性に配慮しながら授業の質を高め、本物の力を積み重ねていく必要がある。
- 農園と新校舎の特色を生かした作業学習等を推進し、6次産業化に向けた製品開発を展開したい。
- 就職率60%、就職希望者100%の達成に向けた進路学習・実習・職場開拓を関係機関と連携し、これまで以上に拡大することが求められている。
- 校舎改築基本構想を踏まえ、地域交流室等、新校舎の効果的な活用を推進する。

【学校を取り巻く将来の状況の予測】

- 校舎改築を機に児童生徒数や寄宿舎生数増が予想される。障害の重度・重複化や多様化が進み、個に応じた指導が一層求められている。
- 地域（大館市）の本校に対する理解は進んでいる。教育委員会を始めとした各関係機関、小・中学校・高校・大学との関係も良好であるが、地域の特別支援学級等の人材育成及び各校校内委員会の機能に格差があり、本校のセンター的機能の充実が求められている。
- 新校舎食品加工室等の活用による農作物等の6次産業化、外部講師や交流を活用した学校特産品の開発、製作、販売等、教育課程編成の工夫・充実が求められている。
- 新校舎は障害の有無に関わらずユニバーサルデザイン設計で地域交流室や寄宿舎の自立支援訓練ルームも完備されており、地域コミュニティーへの参加や生活自立に向けた機能の充実が図られ、保護者及び地域の期待が大きい。

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

【目指す方向性・学校像】

- 「地域と共に育ち、地域に感謝される教育活動を推進する学校」を目指し、地域との連携や活動を通して、児童生徒の「本物の力」を育てる。
- 「一人一人の思いや願いに応え、積極的に自立と社会参加を目指す学校」を推進し、社会に参加する力を育む教育活動や授業改善を展開していく。

【目指す児童生徒の姿】

- 健康・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども
- 誠実・・・喜びをもって精一杯努力する子ども
- 自立・・・自分のことは自分の力で成し遂げようと努力する子ども

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

具体的な目標・取組	推進指標
<p>「地域を支え、地域に感謝される」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との共催行事、地域行事への参画 ○ボランティア活動（除雪、清掃、防災、施設訪問等）の継続 ○学校後援会、PTAとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事（4行事）への参加と地域共催行事、防災訓練の実施 ・清掃活動、夜回り隊ボランティア活動の継続 ・新校舎（地域交流室含む）活用計画の具体化と地域への周知 ・地域理解推進に係る学校後援会、PTAとの連携
<p>「社会参加につながる特色ある教育課程」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本物の力・生きる力につながる学び ○学校特産品の開発、製作、販売（6次産業化と外部講師、高校との連携） ○交流及び共同学習の質・量の向上 ○希望する全児童生徒の居住地校交流実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づいた社会に開かれた教育課程の実践と評価 ・学校特産品の開発（各作業班一つ以上）、製作、販売 ・小・中・高・大学との交流及び共同学習 ・小・中の全児童生徒における居住地校交流実施率 小70% 中40% ・新校舎を有効活用した教育課程の実施
<p>「児童生徒が社会に参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就労率100%（一般就労） ○希望するサービス利用の実現（福祉就労） ○自分のよさを生かし、社会に貢献する ○長所が生きる事業所を開拓する ○自分から行動し、周りの人と一緒に楽しんで活動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する生徒の就職決定（100%） ・前年度卒業生90%の職場定着 ・希望する全員の福祉施設やサービスの利用
<p>「就学、地域の学校を支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大館市内全幼保・小・中との連携（日常的な職員派遣による支援と教育相談、研修会の実施） ○高等学校特別支援隊の充実（県北地区高校への派遣継続、支援機関と連携した就労支援、研修会の実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関係支援施設との連携強化と計画的、継続的な支援 ・教育専門監、センター的機能による全幼保・小・中・高への支援・人材育成 ・市全小・中学校特別支援学級との交流の場の提供 ・事務局校としての高校支援の充実
<p>「専門性を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学・医療・福祉・行政機関との連携 ○地域人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会開催（12月2日） ・小・中学校（市教委）、高校と合同で研修会実施
<p>「校舎改築事業」 「その他」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新体育館の完成、供用開始 ・寄宿舎プロジェクト委員会設置

